

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 東北財務局長

**【提出日】** 平成29年9月14日

**【四半期会計期間】** 第45期第3四半期(自 平成29年5月1日 至 平成29年7月31日)

**【会社名】** 株式会社フジ・コーポレーション

**【英訳名】** FUJI CORPORATION

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 遠藤文樹

**【本店の所在の場所】** 宮城県富谷市成田一丁目7番1号

**【電話番号】** (022)348-3300

**【事務連絡者氏名】** 常務取締役管理部部長 多賀睦実

**【最寄りの連絡場所】** 宮城県富谷市成田一丁目7番1号

**【電話番号】** (022)348-3300

**【事務連絡者氏名】** 常務取締役管理部部長 多賀睦実

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第44期 第3四半期累計期間	第45期 第3四半期累計期間	第44期
会計期間		自 平成27年11月1日 至 平成28年7月31日	自 平成28年11月1日 至 平成29年7月31日	自 平成27年11月1日 至 平成28年10月31日
売上高	(千円)	22,839,174	24,182,413	29,036,064
経常利益	(千円)	1,968,375	1,944,028	2,259,210
四半期(当期)純利益	(千円)	1,184,557	1,322,154	1,355,977
持分法を適用した場合の 投資利益	(千円)			
資本金	(千円)	1,236,515	1,236,515	1,236,515
発行済株式総数	(株)	10,485,000	10,485,000	10,485,000
純資産額	(千円)	10,745,695	11,946,645	10,917,115
総資産額	(千円)	19,766,716	20,000,087	21,094,146
1株当たり四半期 (当期)純利益金額	(円)	119.08	129.51	135.41
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)		129.46	
1株当たり配当額	(円)			30.00
自己資本比率	(%)	54.4	59.7	51.8

回次		第44期 第3四半期会計期間	第45期 第3四半期会計期間
会計期間		自 平成28年5月1日 至 平成28年7月31日	自 平成29年5月1日 至 平成29年7月31日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	4.64	17.17

- (注) 1 売上高には、消費税等は含まれておりません。  
 2 当社は関連会社を有しておりませんので、「持分法を適用した場合の投資利益」については記載しておりません。  
 3 第44期第3四半期累計期間及び第44期の「潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額」については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第3四半期累計期間において、当社において営まれている事業内容に重要な変更はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第3四半期累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第3四半期累計期間（平成28年11月1日～平成29年7月31日）における我が国の経済は、米国新政権の政策動向や米国利上げの影響から株高・円安等もあり、企業収益や雇用環境は改善が見られましたが、個人消費は未だ伸び悩んでおります。また、欧州・北朝鮮等の地政学的リスクの高まりもあることから、先行きの不透明感は依然として高い状況が続いております。

このような状況のもと、当社におきましては、第1四半期会計期間からの価格競争による販売単価の下落、さらに米国大統領選以降の円安による仕入コスト増に伴う粗利圧迫の影響が依然として残っておりますが、当第3四半期会計期間においては、新規店舗の出店（水戸店）による店舗網の拡大や、タイヤ値上がりに伴う駆け込み需要があったこともあり、売上は好調に推移しました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は24,182百万円（前年同期比5.9%増）、営業利益は1,841百万円（前年同期比4.0%減）、経常利益は1,944百万円（前年同期比1.2%減）、四半期純利益は1,322百万円（前年同期比11.6%増）となりました。

品種別売上高の状況は、タイヤ・ホイールは21,213百万円（前年同期比5.4%増）、用品は1,014百万円（前年同期比22.2%増）、作業料は1,954百万円（前年同期比4.0%増）となりました。また、販路別売上高の状況は、店舗売上高は15,832百万円（前年同期比9.9%増）、本部売上高は8,350百万円（前年同期比0.9%減）となっております。

#### (2) 財政状態の分析

##### 資産の状況

当第3四半期会計期間末における資産は20,000百万円（前事業年度末比1,094百万円の減少）となりました。主な変動要因は、売掛金609百万円の減少、商品168百万円の減少、未収入金321百万円の減少などによるものであります。

##### 負債の状況

当第3四半期会計期間末における負債は8,053百万円（前事業年度末比2,123百万円の減少）となりました。主な変動要因は、買掛金1,536百万円の減少、長期借入金373百万円の減少、未払法人税等139百万円の減少などによるものであります。

##### 純資産の状況

当第3四半期会計期間末における純資産は11,946百万円（前事業年度末比1,029百万円の増加）となりました。主な変動要因は、利益剰余金1,015百万円の増加などによるものであります。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	30,400,000
計	30,400,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成29年7月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成29年9月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	10,485,000	10,485,000	東京証券取引所 (市場第一部)	株主としての権利内容に制限 のない、標準となる株式 (単元株式数 100株)
計	10,485,000	10,485,000		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

## (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成29年7月31日		10,485,000		1,236,515		1,273,115

## (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (7) 【議決権の状況】

## 【発行済株式】

平成29年7月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 276,200		株主としての権利内容に制限のない、標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式10,206,900	102,069	同上
単元未満株式	普通株式 1,900		同上
発行済株式総数	10,485,000		
総株主の議決権		102,069	

(注) 1 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式2,000株(議決権20個)が含まれております。

2 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式88株が含まれております。

## 【自己株式等】

平成29年7月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社 フジ・コーポレーション	宮城県富谷市成田一丁目 7番1号	276,200		276,200	2.63
計		276,200		276,200	2.63

## 2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第63号)に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期会計期間(平成29年5月1日から平成29年7月31日まで)及び第3四半期累計期間(平成28年11月1日から平成29年7月31日まで)に係る四半期財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

### 3. 四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので四半期連結財務諸表は作成しておりません。

## 1 【四半期財務諸表】

## (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年10月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年7月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	477,357	555,621
売掛金	2,017,902	1,408,128
商品	5,190,269	5,021,534
未収入金	1,064,788	743,223
その他	346,523	282,837
貸倒引当金	104	104
流動資産合計	9,096,737	8,011,241
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物	5,744,054	6,131,185
減価償却累計額	789,984	959,711
建物(純額)	4,954,070	5,171,473
土地	2,690,062	2,690,062
その他	5,337,858	5,407,411
減価償却累計額	2,196,785	2,568,325
その他(純額)	3,141,073	2,839,086
有形固定資産合計	10,785,205	10,700,623
無形固定資産	181,456	272,185
投資その他の資産	1,030,746	1,016,037
固定資産合計	11,997,409	11,988,846
資産合計	21,094,146	20,000,087

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年10月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年7月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,917,731	1,381,591
短期借入金		400,000
1年内返済予定の長期借入金	596,666	386,666
未払法人税等	389,405	250,353
賞与引当金	64,950	23,930
前受金	301,058	186,899
その他	866,824	468,978
流動負債合計	5,136,636	3,098,420
固定負債		
長期借入金	4,246,666	4,083,333
退職給付引当金	157,746	191,725
資産除去債務	175,845	198,101
その他	460,135	481,861
固定負債合計	5,040,394	4,955,022
負債合計	10,177,030	8,053,442
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,236,515	1,236,515
資本剰余金	1,273,115	1,273,115
利益剰余金	8,440,150	9,456,043
自己株式	32,665	32,665
株主資本合計	10,917,115	11,933,008
新株予約権		13,636
純資産合計	10,917,115	11,946,645
負債純資産合計	21,094,146	20,000,087



## (2) 【四半期損益計算書】

## 【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年7月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年7月31日)
売上高	22,839,174	24,182,413
売上原価	15,658,040	16,999,533
売上総利益	7,181,134	7,182,880
販売費及び一般管理費	5,262,579	5,340,958
営業利益	1,918,554	1,841,922
営業外収益		
受取利息	4,079	3,777
不動産賃貸料		13,660
為替差益		2,449
協賛金収入	73,745	55,355
その他	28,270	41,994
営業外収益合計	106,095	117,238
営業外費用		
支払利息	7,673	4,060
不動産賃貸費用		10,048
株式交付費	14,045	
為替差損	32,643	
その他	1,911	1,024
営業外費用合計	56,274	15,132
経常利益	1,968,375	1,944,028
特別利益		
固定資産売却益	65,729	545
特別利益合計	65,729	545
特別損失		
固定資産売却損	225	1,196
減損損失	1 218,814	
その他	8,479	
特別損失合計	227,518	1,196
税引前四半期純利益	1,806,586	1,943,376
法人税等	622,029	621,222
四半期純利益	1,184,557	1,322,154

## 【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第3四半期累計期間 (自 平成28年11月1日 至 平成29年7月31日)	
税金費用の算出方法	税金費用については、当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

当第3四半期累計期間 (自 平成28年11月1日 至 平成29年7月31日)	
「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用しております。	

(四半期貸借対照表関係)

特記すべき事項はありません。

(四半期損益計算書関係)

## 1 減損損失

前第3四半期累計期間(自 平成27年11月1日 至 平成28年7月31日)

当第3四半期累計期間において、当社は以下の資産について減損損失を計上しました。

減損損失を認識した資産

用途	賃貸用資産
場所	栃木県宇都宮市
種類	土地
金額	218,814千円

減損損失の認識に至った経緯

店舗の移転に伴い、事業用資産から賃貸用資産に用途変更したことにより収益性が低下したため、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

資産のグルーピングの方法

当社はキャッシュ・フローを生み出す最小単位として、事業用資産については店舗単位、賃貸用資産及び遊休資産については各物件を個別の資産グループとしております。

なお、本社資産等については、独立したキャッシュ・フローを生み出さないことから共用資産としております。

回収可能価額の算定方法

資産グループの回収可能価額は、使用価値により測定しております。

使用価値は将来キャッシュ・フローを3.0%で割り引いて算定しております。

当第3四半期累計期間(自 平成28年11月1日 至 平成29年7月31日)

該当事項はありません。

## 2 売上高の季節的変動

前第3四半期累計期間(自 平成27年11月1日 至 平成28年7月31日)及び当第3四半期累計期間(自 平成28年11月1日 至 平成29年7月31日)

当社の売上高は、冬季商品のスタッドレスタイヤ交換期にあたる第2四半期累計期間までに、売上高が著しく片寄る季節的な傾向があります。

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る減価償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 平成27年11月1日 至 平成28年7月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成28年11月1日 至 平成29年7月31日)
減価償却費	654,779千円	608,149千円

(株主資本等関係)

前第3四半期累計期間(自 平成27年11月1日 至 平成28年7月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年1月28日 定時株主総会	普通株式	235,092	25.00	平成27年10月31日	平成28年1月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

当社は、平成28年1月26日付で公募増資、平成28年2月16日付で第三者割当増資による払込みを受けました。この結果、当第2四半期累計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ705,115千円増加し、当第2四半期会計期間末において資本金が1,236,515千円、資本剰余金が1,273,115千円となっております。

当第3四半期累計期間(自 平成28年11月1日 至 平成29年7月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年1月27日 定時株主総会	普通株式	306,261	30.00	平成28年10月31日	平成29年1月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前事業年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、カー用品等販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年7月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年7月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	119円08銭	129円51銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	1,184,557	1,322,154
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	1,184,557	1,322,154
普通株式の期中平均株式数(株)	9,948,000	10,208,712
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額		129円46銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)		
普通株式増加数(株)		4,490
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前事業年度末から重要な変動があったものの概要		

(注) 前第3四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成29年9月12日

株式会社フジ・コーポレーション  
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 瀬 戸 卓

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 木 村 大 輔

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社フジ・コーポレーションの平成28年11月1日から平成29年10月31日までの第45期事業年度の第3四半期会計期間(平成29年5月1日から平成29年7月31日まで)及び第3四半期累計期間(平成28年11月1日から平成29年7月31日まで)に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社フジ・コーポレーションの平成29年7月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。